

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年3月分 【速報】

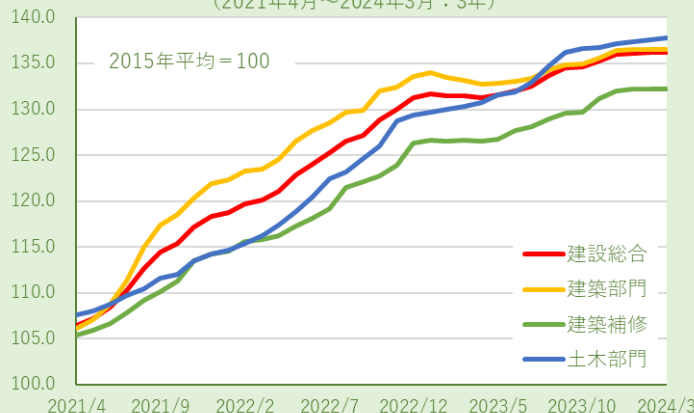
建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

3月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**136.2**となり、前月比+0.1ポイント(+0.0%)と**11**カ月連続で上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.8ポイント(+3.6%)となった。部門別では、**建築部門**が**136.5**となり、前月比-0.0ポイント(+0.0%)と**11**カ月ぶりの下落となった。前年同月比では+3.3ポイント(+2.5%)となった。**建築補修**が**132.2**となり、前月比-0.0ポイント(-0.0%)と**2**カ月連続の下落となった。前年同月比では+5.6ポイント(+4.4%)となった。**土木部門**が**137.8**となり、前月比+0.2ポイント(+0.2%)と**2020年5月**以来**46**カ月連続で上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+7.5ポイント(+5.7%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年4月～2024年3月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【鉱産物】砂利・碎石

一部の地区において、製造・輸送コストの増加を背景とした値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル

主原料である銅の建値上伸に伴う製品価格の値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

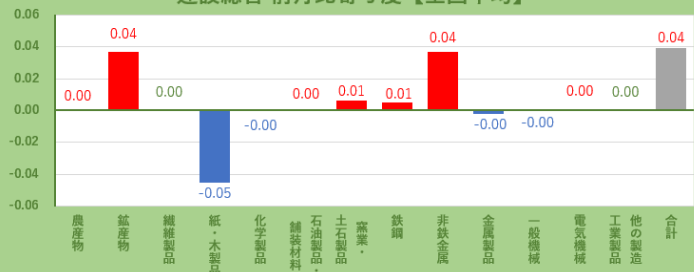
【紙・木製品】合板類

先月に引き続き、全国的な需要低迷を背景とした受注競争により市場価格が下落し、指数動向のマイナスに寄与

【金属製品】ステンレス鋼

メーカー仕切り価格値下げ、需要低迷による流通業者間の競争から市況が下落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



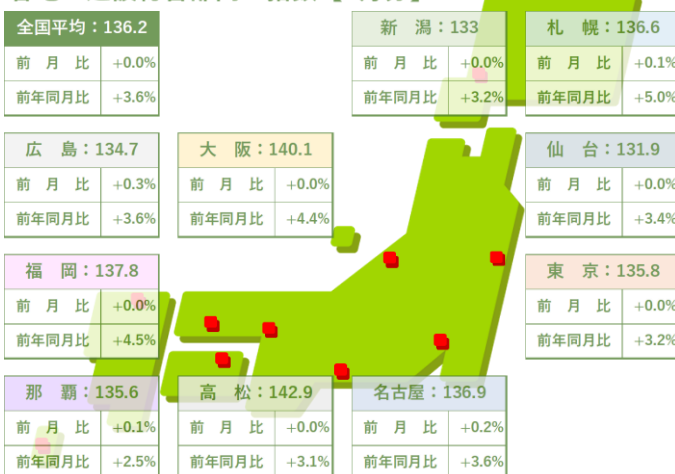
建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

【広島】(前月比+0.3%)、【名古屋】(同+0.2%)、【札幌】(同+0.1%)では、製造・輸送コストを転嫁したコンクリート用骨材や割り石・クラッシュランなどの砂利・碎石の価格の上伸や、銅の建値上伸を背景とした電線・ケーブル価格の上伸がプラスに寄与した。前述の都市と同様に前月比プラスとなった【那覇】(同+0.1%)は、原材料費ならびに輸送コストの増加を製品価格に転嫁した一部のコンクリート製品の値上がりプラスに寄与した。価格の上昇基調が緩やかになるなかで、指数に寄与する分類が都市により異なる結果となった。ほとんど動きがなかった都市では、砂利・碎石やコンクリート製品、電線・ケーブルの値上げと合板類の値下げが相殺することとなり、指数動向に寄与しなかった。

各地の建設総合部門の指数【3月分】



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp